

第57期 株主通信

中間事業報告

平成22年10月1日～平成23年3月31日



快適に過ごすための、システムとサービスを提供します。

BUSINESS REPORT 2011

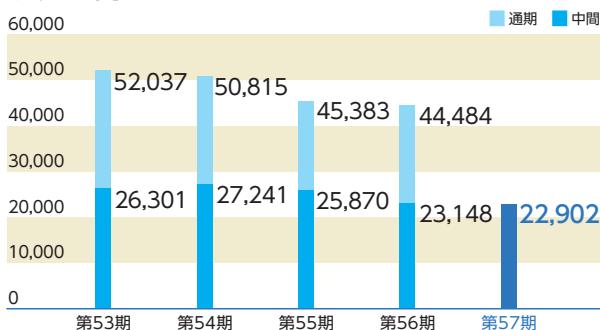


連結決算ハイライト

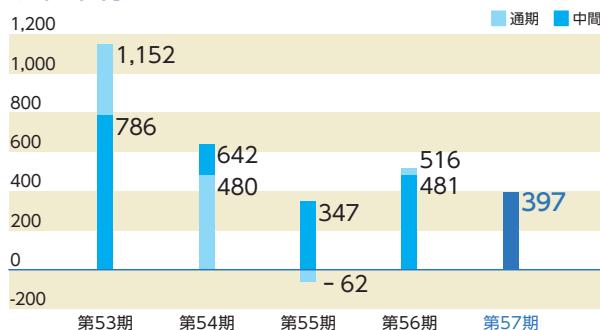
財務ハイライト

	(百万円)	第 53 期 平成19年9月		第 54 期 平成20年9月		第 55 期 平成21年9月		第 56 期 平成22年9月		第 57 期 平成23年9月
		中間	通期	中間	通期	中間	通期	中間	通期	中間
売上高	(百万円)	26,301	52,037	27,241	50,815	25,870	45,383	23,148	44,484	22,902
経常利益	(百万円)	786	1,152	642	480	347	△62	481	516	397
中間(当期)純利益	(百万円)	422	619	342	182	93	△165	196	162	203
1株あたり中間(当期)純利益	(円)	47.66	58.28	32.27	17.15	8.81	△15.62	18.50	15.30	19.16
総資産	(百万円)	27,094	25,451	26,795	24,475	23,681	22,198	23,210	22,340	22,190
純資産	(百万円)	12,762	12,860	13,084	12,834	12,820	12,819	12,978	12,901	13,057
自己資本比率	(%)	47.1	50.5	48.8	52.4	54.1	57.7	55.9	57.7	58.8
自己資本中間(当期)純利益率	(%)	3.4	4.9	2.6	1.4	0.7	△1.3	1.5	1.3	1.6

● 売上高 (単位:百万円)



● 経常利益 (単位:百万円)



● 中間(当期)純利益 (単位:百万円)



● 1株あたり中間(当期)純利益 (単位:円)





代表取締役社長
阿部 一成

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

当社は、自社ブランド商材の拡大とともに、多様な分野で一つひとつの工事を高いレベルでこなすことができる会社を目指してまいります。

また、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しております。配当につきましても安定的な配当の継続を業績に応じて行うことを基本方針としております。しかしながら、震災の影響により住設機器・建材メーカーからの商品及び工事材料の仕入遅延の解消時期が不確定であり、消費マインドの減退に伴う住宅需要の低下も予想されることから、先行きの業績が極めて不透明であります。従いまして、誠に遺憾ではございますが、平成23年9月期の1株当たり配当金につきましては、第2四半期末配当は5円から4円に修正させていただきたいと存じます。期末配当の予想につきましては、東日本大震災の影響により、通期業績予想に不確定要素があることから未定とさせていただきます。期末配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当中間期の概要と当期の見通し

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引く円高やデフレ等の景気下振れリスクはあるものの、新興国向け輸出の増加や企業収益の改善が続いており、全体としては景気の持ち直しに向けた動きが顕著に窺えました。しかしながら、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により生産活動や個人消費の低下を招いたため、一転して景気の回復基調を後退させる状況になりました。

当社の属する不動産・住宅業界におきましては、低金利の継続や政府の住宅購入促進策等の実施もあり、持ち家や分譲住宅の新設住宅着工戸数は低水準ながら増加基調となっておりますが、震災の影響による建築資材の調達遅延により住宅建設の遅延や延期も見受けられ、先行きについては、当面は住宅需要の低下も予想されます。

このような経営環境のもと当社グループは、施工能力の向上・品質の安定はもとより、最優先課題として取り組みを継続している新

規の顧客づくり、取扱商材の拡充によるトータル受注の推進、新工法の確立等に積極的に取り組みました。管理面においては、経費の削減に努め、不良債権の発生防止のため与信管理にも一段の注力をいたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は229億2百万円と前年同四半期に比べ2億46百万円(1.1%)の減収となりました。損益面では営業利益は3億47百万円と前年同四半期に比べ85百万円、(19.7%)の減益、経常利益は3億97百万円と前年同四半期に比べ84百万円(17.5%)の減益、四半期純利益は2億3百万円と前年同四半期に比べ7百万円(3.6%)の増益となりました。

下期についても上期同様、施工能力の向上や新規顧客づくりなどに重点をおき取り組んでまいります。通期の業績予想につきましては、東日本大震災の影響により不確定要素があることから、現時点では平成22年11月12日に公表した予想数値を据え置くことといたします。今後、変更がある場合には直ちに公表いたします。

部門別概況

大型物件事業

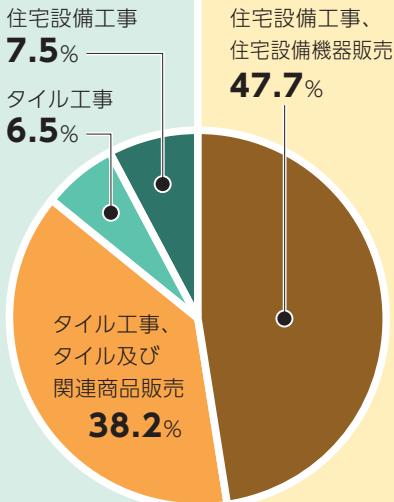
- …タイル工事
- …住宅設備工事

期間	売上高 (百万円)
第56期中間	2,568
第57期中間	1,490

大型物件事業につきましては、首都圏の分譲マンションの新築着工戸数が前年同月比8か月連続で伸長している状況下において、受注量は徐々に回復しているものの、タイル使用率の低下や競争激化による施工単価の下落等により厳しい受注環境で推移いたしました。

このような厳しい環境のもと、タイル外壁の剥離修繕用に採用されるエポキシ樹脂注入工法の新方式を開発し、外壁改修の低コスト、工期短縮及び廃材の減少を可能にすることによって、リニューアル工事の受注量拡大に注力いたしました。また、オリジナルブランドとして展開する「グラータ」という商品名の外装用不燃ルーバーの提案営業にも積極的に取り組みました。さらに、現場管理コストの削減や人件費の抑制にも取り組みましたが、依然として低水準の着工戸数と競争激化による受注単価の下落の影響により前期における受注量が予算を大きく下回ったため、低調な結果となりました。

以上の結果、タイル工事部門の売上高は14億90百万円、住宅設備工事部門の売上高は17億22百万円、大型物件事業全体では32億12百万円という結果になりました。



部門別売上構成比

- 大型物件事業
- 戸建住宅事業

戸建住宅事業

- …タイル工事、タイル及び関連商品販売
- …住宅設備工事、住宅設備機器販売

期間	売上高 (百万円)
第56期中間	7,501
第57期中間	8,756

戸建住宅事業につきましては、低金利や政府の住宅促進策、並びに住宅在庫の需給調整が進展したことなどを背景に、全国の新設住宅着工戸数は持ち家が前年同月比17か月連続増加、分譲戸建住宅が前年同月比15か月連続で増加しており、住宅設備機器への需要は増加基調にありました。しかし、今回の東日本大震災の発生後は、大幅な商品の供給減により、販売や施工活動の低下を招きました。

このような状況下において、震災に伴う住宅建築資材の重度の供給難が続くなか、比較的影響の少なかったタイルの販売及び工事については堅調に推移しました。前期より注力しているサイディング工事については、震災の影響はあるものの大幅な受注量の増加により、ほぼ予定通りの完成工事高となりました。住宅設備工事については、新設住宅着工戸数の緩やかな回復基調とトータル受注の推進により受注量の確保については堅調に推移してまいりましたが、震災により主要な住宅設備機器の供給が絶たれたことを受け、完成工事高は大幅に減少いたしました。また、前期より注力している太陽光発電システムは計画通りに推移しており、完成システム数は前年同期に比べ73.2%、完成工事高は1億85百万円と102.6%の増加となっております。また当期に開拓した新規取引数は232社に達しており、さらなる営業基盤の強化に努めてまいりました。

以上の結果、タイル工事、タイル及び関連商品販売部門の売上高は87億56百万円、住宅設備工事、住宅設備機器販売部門の売上高は109億33百万円、戸建住宅事業全体では196億89百万円という結果になりました。

部門区分の変更について

従来「大型物件事業」の部門に区分しておりました「大阪支店」は事業形態の変更に伴い、第57期より「戸建住宅事業」に区分変更しております。なお、57期の大阪支店における部門内訳はタイル工事部門の売上高は6億86百万円、住宅設備工事部門の売上高は3億69百万円、大阪支店全体では10億55百万円です。

『Artis(アルティス)／Maristo(マリスト)』六本木ショールームオープン



2011年6月6日(月)、東京都港区六本木に、アクリル高級バス
タブ(アルティス)とオリジナルタイルブランド(マリスト)の複合
ショールームを新規OPENいたしました。

2002年3月、新宿パークタワー「OZONE」内にアルティス新宿
ショールームを設置して以来、バス空間を構成する床・壁アイテム
としてアベルコオリジナルタイルブランドのMaristo(マリスト)を
バスタブと同時に提案する新機軸のショールームとしてご愛顧を
頂いてまいりましたが、今回、展示アイテムの充実を図るため
により広いスペースを求めてショールームの移転をいたしました。
2011年5月をもって新宿ショールームは閉鎖いたしました
が、新ショールームではより充実したご提案を行ってまいります
ので、是非足をお運び下さい。

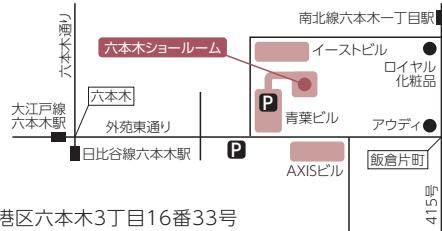
Artis(アルティス)

“白”へのこだわりと“質感”の追求。アルティスはアクリル素材の
魅力を最大限に引き出した高級バスタブのオリジナルブランドです。
ニューモデルの展示は当然のことながら、アルティスを搭載し
た高級グレードのシステムバスルームもご覧いただけます。

Maristo(マリスト)

Maristo(マリスト)は、時代を越えて世界各国で愛され続ける
内・外装意匠材を扱うハイクオリティブランドです。大理石やガラス
タイル、モザイクタイル、磁器・せつ器質タイルなど高級品から汎用
グレード品まで、国内外より厳選した商品をご用意しています。

六本木ショールームでは、商業施設向けのアイテムから戸建住
宅への使用を目的としたアイテムまで、最新のトレンドをご紹介いた
します。



ショールーム概要

【所在地】東京都港区六本木3丁目16番33号
青葉六本木ビル アネックス2階

【TEL】03-5573-9201 【FAX】03-5573-8661

【営業時間】10:00～19:00 【定休日】年中無休(年末年始を除く)

【最寄り駅】東京メトロ日比谷線、都営大江戸線 六本木駅徒歩5分
東京メトロ南北線 六本木一丁目駅徒歩7分

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第57期 中間	第56期 中間	第56期 第56期	科 目	第57期 中間	第56期 中間	第56期 第56期
資産の部	22,190	23,210	22,340	負債の部	9,132	10,232	9,439
流動資産	16,627	17,648	16,786	流動負債	8,460	9,640	8,841
現金及び預金	4,236	3,497	3,823	支払手形・工事未払金等	4,342	4,808	4,513
受取手形・完成工事未収入金等	10,730	11,605	10,942	ファクタリング未払金	2,971	3,102	2,870
商品	336	437	367	未払法人税等	116	160	188
未成工事支出金	1,029	1,795	1,262	未成工事受入金	413	917	456
材料貯蔵品	19	17	15	完成工事補償引当金	14	25	16
繰延税金資産	192	224	309	工事損失引当金	96	32	104
その他	298	319	328	その他	505	593	691
貸倒引当金	△216	△246	△263	固定負債	671	592	597
固定資産	5,562	5,562	5,554	退職給付引当金	77	67	65
有形固定資産	4,102	4,138	4,096	役員退職慰労引当金	9	7	7
建物及び構築物(純額)	919	969	936	役員退職慰労未払金	45	46	46
機械装置及び運搬具(純額)	4	5	3	その他	538	471	477
工具、器具及び備品(純額)	93	—	—	純資産の部	13,057	12,978	12,901
土地	3,083	3,083	3,083	株主資本	13,029	12,966	12,889
建設仮勘定	1	—	4	資本金	896	896	896
その他(純額)	—	79	68	資本剰余金	848	848	848
無形固定資産	201	204	196	利益剰余金	11,317	11,254	11,177
のれん	35	47	41	自己株式	△32	△32	△32
その他	165	156	154	評価・換算差額等	28	11	11
投資その他の資産	1,258	1,219	1,260	その他有価証券評価差額金	28	11	11
投資有価証券	218	211	191				
長期貸付金	3	0	0				
繰延税金資産	161	198	174				
その他	1,393	1,424	1,402				
貸倒引当金	△517	△616	△507				
資産合計	22,190	23,210	22,340	負債・純資産合計	22,190	23,210	22,340

会社概要

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第57期 中間	第56期 中間	第56期
売上高	22,902	23,148	44,484
売上原価	20,102	20,294	39,160
売上総利益	2,799	2,854	5,323
販売費及び一般管理費	2,452	2,421	4,905
営業利益	347	433	417
営業外収益	59	58	118
営業外費用	9	10	19
経常利益	397	481	516
特別利益	33	18	24
特別損失	5	63	105
税金等調整前中間(当期)純利益	426	436	435
法人税、住民税及び事業税	103	140	228
法人税等調整額	119	99	43
中間(当期)純利益	203	196	162

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第57期 中間	第56期 中間	第56期
営業活動によるキャッシュ・フロー	538	△227	197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58	△56	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66	△42	△85
現金及び現金同等物の増減額	413	△327	△1
現金及び現金同等物の期首残高	3,823	3,824	3,824
現金及び現金同等物の期末残高	4,236	3,497	3,823

会社概要

(平成23年3月31日現在)

社名	株式会社アベルコ
代表者名	阿部 一成
創業	大正13年3月
設立	昭和30年3月
本社所在地	東京都足立区鹿浜3丁目3番3号
資本金	896百万円
事業内容	タイル・住宅機器・衛生設備機器・ 空調機器・管材・輸入石材の卸販売 及び設計施工・工事請負
連結売上高	44,484百万円(平成22年9月期)
連結社員数	566名
取引銀行	株式会社三井住友銀行 株式会社東京都市銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 住友信託銀行株式会社

役員

(平成23年3月31日現在)

代表取締役社長	阿部 一成
専務取締役	岡本 孝一
常務取締役	船橋 朗
常務取締役	永澤 正博
常務取締役	廣瀬 紀夫
常勤監査役	佐藤 和男
監査役	川上 敏宏
監査役	田口 明

株主メモ

- | | |
|----------|---|
| ○ 事業年度 | 毎年10月1日から翌年9月30日まで |
| ○ 定時株主総会 | 毎年12月開催 |
| ○ 基準日 | <ul style="list-style-type: none">● 定時株主総会…… 毎年9月30日● 期末配当金…… 毎年9月30日● 中間配当金…… 毎年3月31日● そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

- | | |
|------------------------|--|
| ○ 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 |
| ○ 株主名簿管理人事務取扱場所 | 東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先
〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先
☎ 0120-176-417
インターネットホームページURL
http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html |

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、当社がお支払する配当金について、配当金額や徴収税額等を記載した「支払通知書」を株主様宛にお送りすることとなっています。(同封の「配当金計算書」が、「支払通知書」を兼ねることになります)

なお、「支払通知書」は株主様が確定申告をする際の添付資料としてご使用いただくことができます。(株式数比例配分方式を選択されている場合は、お取引の口座管理機関(証券会社)へお問合せください)

- | | |
|-----------|--|
| ○ 公告の方法 | 当社のホームページに掲載します
http://www.avelco.co.jp |
| ○ 上場証券取引所 | 大阪証券取引所(JASDAQ市場) |